

◆二十二番（神田加津代）（登壇）皆様、こんにちは。自由民主党の神田加津代でございます。

最後に、リニア中央新幹線の東京－大阪間の全線同時開業について要望いたします。

リニア中央新幹線の整備について、これは十八日の夜に発表がありました。東京－名古屋間の停車駅が決まったようでございますけれども、新幹線の整備について、建設・営業主体であるJR東海は、東京－名古屋間の開業が二〇二七年、名古屋－大阪間が二〇四五年と二段階施工を表明しています。十四年後には東京－名古屋間が四十分で結ばれ、首都圏と中部圏の交流・連携が活発化しますが、名古屋－大阪間の開業はさらに十八年後となります。企業の経済活動を考えると、この間に多くの企業が、奈良県内だけでなく、関西全体から名古屋以東に流出し、県経済、ひいては関西経済全体が地盤沈下するのではないかと懸念しています。

六月に奈良県、三重県の経済団体が公表した調査報告書によりますと、リニア中央新幹線が大阪まで全線同時開業した場合、奈良県、三重県、大阪府の三府県の単年度経済波及効果は年間一・五兆円、名古屋までの部分開業と比較して一・七倍の経済効果があることが示されています。このように、リニア中央新幹線は、東京－大阪間の全線同時開業があつて初めて、全国新幹線鉄道整備法で規定されている、国民経済の発展や国民生活領域の拡大、地域の振興といった当初の目的が達成され、その効果が発揮されるものです。このため、リニア中央新幹線の効果を県勢の発展に最大限生かすためにも、ルートや駅の位置が早期に確定され、全線同時開業につながるよう、国やJR東海に引き続き強く働きかけていただくことを知事に要望いたします。

◆二十二番（神田加津代） どうも知事、たくさんの答弁ありがとうございました。

これは要望でございますが、リニア中央新幹線の、私はもう橿原市やから、県立医科大学のときはやいやい言うたけれどもと思っておりましたけれども、大きく考えると、リニア中央新幹線の名古屋から大阪までのこの区間がこんなに、名古屋までの開業と、その後十八年も後でということは大変やでということをお聞きされました。さっきも言いましたように、そういういろんな企業が名古屋から向こうへ行ってしまったら、この関西はどうなるのかなという思いが何か急に湧いてきまして、こういう要望にさせていただきました。同時開業ということの重要性は、知事はもう痛いほど思っていてくださると思っておりますけれども、私たちも本気になってこのリニア中央新幹線の停車駅を奈良県にという取り組みをしないとイケないんじゃないかなと思うんです。閣議決定では、奈良にというはっきりしたものではなくて、奈良市附近にその駅をというようになっているんでしょうか。そんなので、ひょっとしたらまた京都の、奈良に近い京都のところまで回り込まれるような危険性もあるのかなという懸念も持ちますので、これはもう本当にみんなで頑張つて、奈良県に駅ができるように頑張つてまいりたいと、そんな思いでいっぱいでございます。

いろいろありますけれども、引き続き県勢発展のためによりしくお願いを申し上げます。質問を終わりたいと思います。ありがとうございました。